

公益財団法人そらぷちキッズキャンプ 2022年度 活動実績報告(御礼)

コロナ禍3年目、感染症対策を徹底の上、今後の with コロナも見据え、以下の活動を実施しました。

『難病とたたかう子どもとその家族を、全国各地から招待してキャンプを実施。(計9回)』

●宿泊キャンプ4回 ～千葉、静岡、愛知、神奈川県より～

8,9,11,12月には、同居する1家族を対象とし宿泊を伴うキャンプを開催しました。小児がんなどの難病とたたかう子どもと家族(4家族15名)を、主治医同行のもと、招待することができました。家族一緒に乗馬や森たんけん、飯ごう炊飯、キャンプファイヤーなど、北海道の自然を満喫してもらいました。



「馬とのふれあい」



「キャンプ場内のお散歩」



「再開した冬家族キャンプ」

●日帰りキャンプ5回 ～北海道在住～

6,7月には、北海道在住1家族限定の日帰りキャンプを週末に5回開催し、病気や障がいをもつ子どもと家族(5家族22名)に、乗馬や馬ふれあい、森のたんけん、芝生あそびなどを楽しんでもらいました。

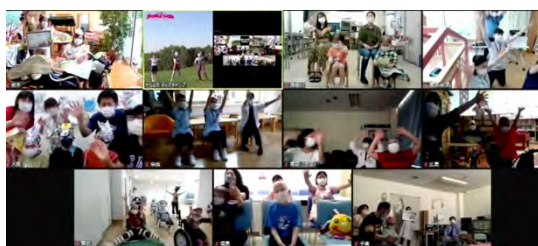
「親子でゆっくり日向ぼっこ」



『難病の子どもたちが過ごす、全国各地の病院(病室)や自宅に“楽しみ”を届けました。』

●小児病院等とWeb・L I V E 配信で相互交流

全国各地の小児病院や自宅をWebでつなぎ、キャンプ場の様子を伝え、互いの想いを伝え合うオンラインイベントを夏冬開催。→41病院・施設178名の子どもが参加



●キャンプ用品ギフト(水耕栽培チャレンジ)

病院や自宅で闘病中の子どもたちへ水耕栽培キットを贈り、栽培チャレンジに対し、キャンプ用品をプレゼントしました。→26家族58名の病児や家族が参加



●スノーギフト

雪の積もらない地域にある病院等へ、キャンプ場に積もった雪を専用のスノーボックスに詰め、冷凍空輸で贈りました。→79箱 約400名の病児が参加



重い病気や障害のある子ども
のための医療ケア付き自然体験
施設「そらぶちキッズキャンプ」
(滝川市)に今春、念願がかな
い就職した。自身も障害があり、
中高生時代にそらぶちで自然を
楽しんだ。「新鮮な気持ちで、
子どもたちや家族に寄り添いた
い」と意気込む。

奈良県出身。生後、脊椎の一
部が形成不全の二分脊椎症と診
断され、下肢のまひなどがある。
つえが欠かせず、これまで10回
以上の手術を受けてきた。

そらぶちを初めて訪れたのは
中学2年だった2005年の
夏。乗馬や炊事に挑戦し、何よ
りもそらぶちに関わるさまざま
な職業の人々や、異なる地域に
住む同じ境遇の子どもたちに会
えたことが新鮮だった。高校卒
業までに計3回訪れ、「病気の
ある子と悩みを分かちあえるこ
とがうれしかった」と振り返る。
京都文教大に進学後、病気や
障害のある子どもを支える仕事

医療ケア要する子ども向けの自然体験施設職員

にし さき
小西 美咲さん



を目指し、臨床心理士の資格を
取得。その傍ら、そらぶちで運
営ボランティアも続け、「ここ
で働きたい」という夢が芽生え
た。大学院を経て京都の児童発
達支援センター職員だった昨
秋、そらぶちに希望を伝え、受
け入れられた。

採用は今年5月。新型コロナ
ウイルス下で来場制限を余儀な
くされる中、例年の規模を下回
るもののこれまで5組を受け入
れ、写真撮影などを担った。入
院先などで参加を待つ子どもた
ちには気分だけでも味わって
らおうと、キャンプ用品の食器
や椅子などを送った。「大人の
目線ではなく、子ども目線でサ
ポートしたい」。29歳のまなざ
しは優しい。(藤原那奈)

「キャンパーとして参加(2005年)」



HTB(北海道テレビ放送)公式 YouTube

難病を乗り越え…つかんだ夢 北海道滝川市
病気と闘う子どもたちのためのキャンプ場『そらぶちキッズキャンプ』

<https://youtu.be/N7RrpytX9F8>



2022年10月 HTB(北海道テレビ放送)にて、キャンプ場と、
職員・小西美咲の様子が、ニュース特集として、放送されました。



公益財団法人そらぶちキッズキャンプ 2022夏季 ファミリーキャンプ

Special Thanks!



公益財団法人そらぶちキッズキャンプ 2023.02.10-13 ファミリーキャンプ

Special Thanks!





馬との触れ合い(2021年6月/夏)。



見晴らしの丘で雪合戦(2023年2月/冬)。



夕食後のお話会(2023年2月/冬)。

「そらぶちキッズキャンプ」は、小児がんなどの難病と闘う子どもたちとその家族を、全国各地から医療ケア付きキャンプ場へ無料で招待し、北海道の豊かな自然の中で、病気や障害のことを気にせず、思いきりキャンプを楽しんでもらう活動を行っています。

〈公益財団法人そらぶちキッズキャンプ〉

佐々木健一郎事務局長にお話を伺いました。

キャンプ体験が宝物のような思い出に

北海道滝川市丸加高原にあるキャンプ場には看護師が常駐し、キャンプ期間中は参加する子どもの病状に合わせた専門の小児科医も一緒に寝泊まりします。闘病を“がんばっている”子どもたちや兄弟姉妹、お母さん、お父さんたちに、非日常でスペシャルな遠足、旅行のようなキャンプをプレゼント。この取り組みは、多くの企業・個人の寄付、ボランティアの力に支えられ、これまで1200名を超える難病の子どもと家族を招待することができました。キャンプでのチャレンジや思い出は、心の宝箱に大切にしまわれ、きっと日常生活に戻ったときのエネルギーになると信じています。

コロナ禍が続いた3年間は、同居する1家族のみを対象として、感染症対策を徹底したキャンプを定期的実施。写真(上)は、そのうちの2021年6月、主治医と共にAIRDO便に搭乗、旭川空港に到着し、キャンプ場を訪れた家族の様子です。北海道で3泊4日のかけがえのない時間を過ごし、自宅に戻った車いすの男の子は、キャンプでの楽しかった思い出を家族と振り返りながら話す日々のなかで、天国に旅立ちました。その後も残されたご家族とキャンプ場とのやり取りは続き、2023年2月の冬キャンプにもう一度、招待することができました。1年半前と同じルートで旭川空港からキャンプ場入り。真っ白な世界で、それぞれが“家族”を想い、感じる時間になりました。これからも、参加した家族にとってやさしい思い出の場所であり続けたいと考えています。



公益財団法人そらぶちキッズキャンプ
滝川市江部乙町丸加高原4264-1
TEL:0125-75-3200
<https://www.solaputi.jp/>